「過去の南海トラフ巨大地震とその複合災害」勉強会

関西支部　若手技術者支援企画

主催：（公社）日本地すべり学会関西支部・京都大学防災研究所徳島地すべり観測所

日本地すべり学会関西支部では若手技術者の方々に技術習得と交流の機会を設けるため，2022 年度より現地地形・地質見学を含めた勉強会を実施しています．今回はその第 3 回で，JR 高知駅を起点に日本史上最大級の１７０７年の南海トラフ巨大地震（宝永地震）が発生させた津波・斜面災害・河道閉塞による湛水被害，そして高密度地形データを利用した深層崩壊予測に関しても学びます．

日　　時：　2024 年 5 月 24 日（金）　8:30～17:00　（高松方面から JR 高知駅に 8:18 に到着する特急に出発時間を合わせます）

集合場所・移動方法：　高知市 JR 高知駅改札前．現地まではレンタカーまたはジャンボタクシーを利用して移動します．行程は一部変更になる場合があります．

行　　程：　8:30　JR 高知駅前改札前受付
9:30 須崎市自然災害伝承碑「須崎寶永津浪溺死之塚」（宝永地震・1854 年安政南海地震碑）
10:30 越知町柴尾の石碑（河道閉塞による湛水を示す石碑見学）
11:10 越知町舞ヶ鼻崩壊地（河道閉塞の原因となった崩壊地）の遠望
11:40 舞ヶ鼻崩壊地直下（露頭見学・周辺の地質地形解説）
12:00-13:00 かわの駅おち（地形解説・昼食休憩）
13:45 小日浦の崩壊地（崩壊地の見学・地質地形解説）
15:00 大桐川沿いチャート露頭（露頭見学・地質解説）
17:00 JR 高知駅　解散　解散後懇親会を予定しています

※午前中の見学地到着前にセブン-イレブン（須崎桐間南店）で昼食の購入が可能です．また，見学の帰路に「まきのさんの道の駅・佐川」で休憩を予定しています．

参　加　費：会員無料・非会員 1500 円（保険・資料印刷代），この他に昼食代，交流会に参加される方は夕食代も必要です．（夕食代は 4000 円程度を想定しています）．
参加費は昼食時に集めます．おつりの無いようにお願いします．

定　　員：15 名（先着順，ただし４月２２日より５月１０日が申し込みの受付期間です）

申し込み方法，問い合わせ先：
下記のメールアドレスに，氏名，所属，生年月日，住所，連絡先（できれば携帯電話番号）を記入して送信してください．問い合わせも同じく下記メールまたは電話でお願いします．集めた個人情報は保険加入のためのみに使用します．

京都大学防災研究所徳島地すべり観測所　見学会担当（山崎）
〒778-0020 徳島県三好市池田町州津藤ノ井 492-1　TEL: 0883(72)1075
E-Mail: kengaku2024@landslide.dpri.kyoto-u.ac.jp

※参加は若手（４０歳代以下）に限りませんが，定員を超える場合は若手を優先させて頂きますのでご了承下さい．（一社）建設コンサルタンツ協会の CPD 付与を予定しています．

以上

参考写真

須崎市の自然災害伝承碑「須崎寶永津浪溺死之塚」．1707 年宝永地震では須崎では 400 名の犠牲があったとされ，150 回忌にあたっての改葬を進めていた．そのさなかの 1854 年安政南海地震で再度の津波被害があり，その２つ津波災害の教訓が石碑に刻まれている．

1707 年宝永地震に伴い発生した舞ヶ鼻の崩壊で発生した河道閉塞・湛水による災害を記録する石碑（右の楕円形の石碑）．被害のあった越知盆地の標高 61m 付近にそろってある碑の一つである．「石碑より下に家を建てるな」という言い伝えが地元では残っている．平成 23 年に解説板が新たに設置された．なお現在でも越知町の市街地・宅地は当時の湛水位標高 61m よりも高い場所にある．

上記の越知町付近の河道閉塞・湛水被害の原因となった舞ヶ鼻の崩壊地の遠望．スプーンでえぐられたような地形が仁淀川の西斜面上に残存している．崩壊地直下では泥質基質の中に砂岩の破断層が観察できる他，川沿いには巨角礫が残存する．